

報告ダイジェスト

- ・ 8/31(土)～9/1(日) プチバカンス報告 (報告 4)
- ・ 9/28(土) 渋谷の福祉を考える有志の会セミナー (報告 3)
- ・ 10/1(火) 区政功労者表彰式報告 (報告 5)
- ・ 10/7(月)～11(金) アジア知的障害会議報告 (報告 1)
- ・ 10/20(日) 第30回ぱれっと福祉バザー報告 (報告 2)
- ・ — 三菱東京UFJ銀行マッチングギフト報告 (報告 6)

報告¹～アジア知的障害会議報告～

第21回アジア知的障害会議(以下、アジア会議)が、10月7日(月)～11日(金)まで、インド・ニューデリーで開催されました。ぱれっとからの参加者も含め、日本からは46名が参加しました。

<会議プログラム>

日程	内容
7(月)	大会手続き
8(火)	開会式、基調講演 カントリーレポート “歓迎パーティー& 友情のタベ”
9(水)	スタディーツアー
10(木)	分科会(本人発表:安田さん)
11(金)	カントリーレポート 閉会式

※期間中は毎日午前中に、障害のある人のためのワークショップが開催されました。

● “様々な想いを胸に”

アジア会議分科会では、日本から参加した障害のある人のうち、発表者6名の一人として安田恵さんが発表しました。障害のある人となない人が共に作り上げるファッションショー「ぱれコレ2012」の取り組みを中心に、「自分の可能性を信じて」というテーマで自己実現や自己表現について話しました。はじめは緊

張っていた恵さんでしたが、徐々に笑顔が見られるようになり、身振り手振りをつけながら自分の思いを表現しました。とてもすばらしい発表であり、彼女の想いは会場にいたすべての人に届いたと思います。障害のある人のためのワークショップでは、博物館に出かけ人形劇を鑑賞したり、一緒にカードを制作したり和気あいあいとした雰囲気で行なっていました。また、“友情のタベ”というプログラムでは、各国の音楽や踊りを通して、言葉の壁を越えた交流を行なうことができました。



【会議プログラム・友情のタベにて】

● 報告

インドでのアジア会議参加に、私自身最初は不安でいっぱいでしたが、5日間とても充実した毎日でした。他国の福祉

事情や教育、障害のある人達を取り巻く環境、会議の運営方法等多くのことを学びました。

今回障害のある人達の発表は、日本からの発表者以外に、開催国のインドから数名の参加に留まり、少し残念に思いました。他国からの本人発表希望者が少なかったことから、障害のある人が自ら社会に発信し表現していく場であるということを、今後さらに強く働きかける必要性を感じました。

また、会議運営においては、資金的・人的支援が不可欠であると同時に「報告・連絡・相談(ほうれんそう)」が改めて重要であることを実感した会議になりました。

アジア会議参加にあたり、日本発達障害連盟のスタッフの皆さま、応援してくださいましたすべての皆さまに感謝します。ありがとうございました。

(えびす・ぱれっとホーム職員 佐々木志保)

●参加者からの感想

☆報告者：安田恵さん☆

私は今回のアジア会議が海外旅行初めてで、ドキドキして大変でした。お尻は痛かったけれど、映画を見たり、機内食を食べたり、8時間のフライトも楽しみました。ホテルの食事もおいしかったです。本人発表は初めてのことで、ハプニングがあったけれど、とにかく最後まで発表できてよかったです。終わってからいろんな人に「よかったよ」と言ってもらえて嬉しかったです。障害のある人のためのワークショップでは、アジア各国から30人弱が集まり、インド国旗の色のリボンを結び合ったり、新聞紙で紙袋を作って色紙や布、切り紙を貼ったり、

スタンプを押したりもしました。東京音頭やインドの出し物を各国の方と一緒に取り組むことができてよかったです。隣のインドの女の人が優しくしてくれ、仲良くなれて嬉しかったです。スタディーツアーでは、作業を実際に体験できたことがいい経験になりました。

☆報告者・親：安田和世さん☆

本人発表は、どうなるのか心配したけれど、臨機応変に対応できていたので、わが子ながらによくやったと感心しました。スタディーツアーでの作業所見学を通して、インドでは障害者がなかなか認められてない現状があるけれど、何かしら支援を行なうことでできることもあると実感しました。

障害のある本人たちが誇りを持って会議に参加していて、自分の意識を高め、ステップアップしていくことにつながっているのだと感じました。発表に臨むという意気込みを強く感じましたし、終わった後の充実した表情を見てすごく感動しました。親が思っていなかったことも経験できて、娘自身すごく自信になり、今後の生活や活動の源になるのではないかと思います。



【安田恵さんによる本人発表】